

2年 経理科「課題研究」PBL の評価規準

何ができるようになるか 身に付けさせたい力		レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1
自ら課題を見だし、知識をもとに課題に対して創造的に解決する能力を身に付けることができる	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由など、根拠に基づいて述べるができる。	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由など、述べることができる。	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由などの内容が十分ではない。	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由などを述べるができない。
	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	具体的な計画を立て、自ら行うべき内容を明らかにできる。	課題の解決に向けたプロセスに応じて大まかな計画を立てることができる。	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、計画を立てようとしている。	課題の解決に向けたプロセスを明らかにすることができない。
	新しい価値を生み出す力	自ら根拠に基づいた課題解決策を提案できる。	自ら指示された範囲の課題解決策を提案できる。	他者のアドバイスがあれば指示された範囲の課題解決策を提案できる。	指示された範囲の課題解決策を提案できない。
ビジネスの諸活動で主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	自分の意見を分かりやすく伝える力	相手の興味を引くように工夫しながら自分の意見を述べるができる。	相手が理解できるように配慮し、自分の意見を述べることができる。	相手のことを意識して、自分の意見を述べることができる。	伝えたい内容を相手に伝えるができない。
	相手の意見を丁寧に聴く力	相手の意見に即した質問をすることができる。	相手の意見を記録し整理することで、理解を深めようすることができる。	相手の意見を理解しようとしている。	相手の意見を理解していない。
	意見の違いや立場の違いを理解する力	違う意見に対し、比較・検討することで新たな解決策を提案できる。	意見の違いの理由を理解するために、質問するなどして、意見の違いを裏付けることができる。	意見の違いを理解しようとしている。	意見の違いを理解しようとしていない。
	他者に働きかけ巻き込む力	自らの意見に賛同を得るとともに、他者の意見を取り入れつつ物事を進めることができる。	自らの意見に賛同を得て、他者とともに物事を進めることができる。	自らの意見を基に、他者とともに物事を進めることができる。	他者とともに物事を進めるができない。